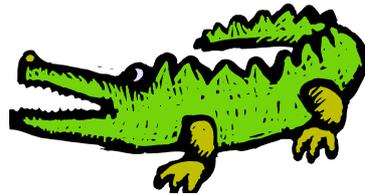


基地と



観光

(8月のごあいさつ)

平成 26 年 8 月 1 日 (金)

今年の台風は 7～8 号、9～10 号、11～12 号、と天気予報の通りほぼ正確に沖縄へやって来ています。

沖縄は素晴らしいところですね。東京に居ると空はもっと小さくて狭いと思っていたが、空が広くて、大きいのに改めて驚きました。海の色は、キラキラと輝いて何色にも変化して素晴らしい。食べ物や文化なども特色に富んでいて魅力的である。東京ではひきこもりが 20 世帯に 1 人はいると思うが、沖縄には 1 人もいないんじゃないか。オスプレイや戦闘機はどこに飛んでいるの。東京に居ると沖縄は**基地の島**というイメージが 90%以上だけれど、何故この**明るさや観光**をアピールできないの？…。

これは先週の土曜日、仕事で沖縄へ来られた関根稔先生を、ついでに今帰仁城跡や万国津梁館などに案内した時、先生からうかがった**沖縄の印象と疑問**であった。

その 4 日後の一昨日、オリックスの宮内義彦氏が、“**沖縄の将来、沖縄の夢を語る**”というご講演をされた。沖縄の可能性を、その未来を、観光を中心に考えれば、日本の中で最も豊かな地域だとした上で、**ハワイと沖縄**を比較してのお話があった。

ハワイは、原子力空母や潜水艦などをかかえる**世界最大の海軍基地**と**観光産業**を持ち、太平洋の真ん中に位置している。沖縄は、**東洋最大の米軍基地**と**豊富な観光資源**を持ち、ユーラシアの東に位置している。この非常によく似た地理的、経済的位置や環境の中で、**ハワイのイメージは観光**であって、**軍事基地のイメージはない**。

ハワイは**基地を後ろ**において、**観光を前**に売り出している。それに比べて、沖縄は**軍事基地が前**で、**観光のイメージは後ろ**になっている。ハワイと沖縄を比較すると売りが逆になっている感じがする。将来の沖縄の地理的、文化的から見た観光の可能性には大きいものがあるのに。

基地と観光の転換点のヒントは、と質問したところ — 遅れは歴史的な原因、地理的位置を生かすランドデザイン、はじめのある集中化、そして大きな絵の中で描く将来、日本文化の起源とも言うべき特性、発想のブレイクスルーの必要性というようなヒントをいただいた気がした。

ご講演を聴きながら、**ワニの口**を思い出した。**ハワイの観光**はワニの口に向い大きく開いている、**軍事基地**は尻尾に向っている。それに対し沖縄は、**基地が大きなワニの口を開け、観光が尻尾**になっているというイメージである。この転換は大きな課題であるが是非とも成し遂げねばならない。

そして宮内氏は、**将来の日本の二大成長分野**について話された。一つは、何とかしなければならない**環境、エネルギー分野の巨大な投資**への必要性、もう一つは**ツーリズム**（大きな意味での人間の動き）の**地球規模での拡大**、そのような世界の中で、沖縄の特性と魅力がどんな風に花開くのかという期待が大きくふくらんだ。